

# 家庭学習のすすめ

## 家庭学習の習慣化について（保護者の皆様へ）

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことのできない『生きるための大切な力』になります。

学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、ご家庭と連携することで、より確かに定着するのではないかと考えます。保護者の皆様には、この「家庭学習の手引き」をお子さんと一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願い致します。

### 家庭学習…、何のために家でも勉強するのでしょうか？

- その1「習慣化」… 学年が進むにつれて高度になる学習内容の確実な習得に向けて
- その2「定着」… 計算や漢字、音読など確実に身に付けるための繰り返し練習
- その3「意欲」… 「もっと速く正確にできるようになりたい。」という向上心
- その4「自立」… 「もっと調べてみたい。」「自分で工夫してまとめてみたい。」という自分なりの課題を見付け、追究するため

### よく言われる「基礎的・基本的な学習内容」って何でしょう？

おおまかに言うと、学校で学習する（教科書にのっている）内容です。

特に、次のようなものです。

- 教科書に出ているような「文章をすらすら読む」こと
- 教科書に出ているような「漢字を読んだり書いたりする」こと
- 教科書に出ているような「算数の問題を解く」こと

2025 年度

千歳市立末広小学校

# 1. 家庭学習について

## 《家庭学習の目的》

- ①学校からの課題に取り組むことによって基礎的・基本的な学力を身に付けさせるとともに、自分が必要とする学習を考えて取り組んだり、興味をもった学習に取り組んだりすることによって自主的に学習に取り組む力を育成する。
- ②タブレットを活用して学校と家庭との学習をリンクさせることにより、子どもたちに必要な資質・能力を効果的に育成する。

## 《家庭学習の考え方》

1と2を合わせて、「家庭学習」とします。

### 1 宿題（学校からの課題→必ず取り組むもの）

- ①タブレット（学習プリント）を活用した学習 →学校から出される課題に取り組むもの
- ②ノートを活用した学習 →自分で学習内容を考えて自主的に取り組むもの

### 2 ご家庭独自の学習

- ◆ 学校からは必ず、スタンプやサイン、コメントなどをして、確実に担任が確認したことが分かるようにして返却します。
- ◆ 家庭学習が終わったら、次の日の（教科書・ノート、筆箱の中身、道具など）の準備をしましょう。学校では、貸し借りはしません。
- ◆ 児童用タブレット端末（以下、タブレット）を、下記の日程で毎日持ち帰って学習します。
  - ・家庭学習でタブレットを使い終わったら、忘れずに充電しましょう。
  - ・タブレットは毎日学校に持ってきます。忘れないようにしましょう。
- ◆ タブレットを使った宿題の内容に関しては、各学級の「classroom」で連絡します。
- ◆ 今年度も見本となる家庭学習の掲示・表彰を行います。年間で4回（前期、後期ともに2回ずつ）行います。

## 《各学年のタブレット持ち帰り開始日》

令和7年度の学年	毎日持ち帰り開始時期	備考
1年生	冬休み明け	週末の持ち帰り→夏休み明けから開始。
2年生	夏休み明け	週末の持ち帰り→5月の連休明けから開始。
3年生	5月の連休明け	タブレットを持ち帰った場合は、必ずタブレットを使用します。
4年生		
5年生		
6年生		

## 2. 家庭学習に取り組む時間（目安の時間）

学年×10分+10分

- 低学年 1年生：10分+10分=20分      2年生：20分+10分=30分
- 中学年 3年生：30分+10分=40分      4年生：40分+10分=50分
- 高学年 5年生：50分+10分=60分      6年生：60分+10分=70分

- ◆ あくまでも「目安」ととらえてください。興味・関心のある内容、やりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になることでしょう。休日や夏・冬休みなどの時間がとれるときは、さらに30～60分程度増やせるとよいでしょう。
- ◆ タブレットを使った学習では、「30分に一度休憩を入れることが望ましい」とされています。長時間使っているようであれば、休憩を入れたりやめさせたりしてください。
- ◆ タブレットの使用時間帯は、「午前8時から午後8時まで」の時間帯が望ましいです。朝早くや夜遅く、就寝時間間際まで使用することは控えてください。

## 3. 家庭学習における保護者の役割      ご協力をお願いします。

### ① 学習時間の確保

塾、習い事など、子どもたちも予定がありますが、家庭学習の時間をきちんと確保した「生活リズムをつくれるか」が学習習慣定着のポイントになり、中学校、高校にもつながります。

「下校してからすぐ」「夕食の前」など、よく話し合い、時間帯を決めるとよいです。短い時間でも必ず「机に向かう習慣」を付けさせましょう。

### ② 学習環境づくり

テレビをつけながら勉強しても効果は上がりません。お子さんが集中して取り組めるよう、環境づくりを工夫し協力してあげてください。低学年では、1人よりも家族に見守られながら学習した方が安心できるお子さんもいます

### ③ 声かけ・見届け・励まし

お子さんが学習したことに目を通し、良かったことを褒めたり、励ましたりしてあげることで、どんどんやる気が出ます。

時間がある時には、一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

## 4. その他

- ①お子さんの学習で、わからないことや困っていることなどがありましたら、担任までご相談ください。
- ②夏休みに行われる「学習会」の参加は任意ですが、未提出の課題や補充の学習が必要なときは、参加を求めることがあります。
- ③以下、具体的な取り組みを記載します。取り組む際の参考にしてください。

# <かていがくしゅうのてびき(1,2ねんせい)>

## 1. はじめるまえに

- ☆ がっこうからの おてがみを おうちのひとに わたしましょう。
- ☆ つくえのうえや まわりを かたづけましょう。
- ☆ テレビやゲームなどの スイッチを きりましょう。



## 2. がくしゅうする じかん めやすのじかん：がくねん×10分+10分

- ☆ 1ねんせいには20ぷん、2ねんせいには30ぷん がんばりましょう。
- ※がっこうからのしゅくだい と いえでのがくしゅう をあわせたじかんです。

## 3. がくしゅうすること ノートでのがくしゅうのヒントにしましょう。

	がくしゅう ないよう
こくご	① きょうかしよやほんをこえにだしてすらすらよめるようになりましょう。 ② 「 」(かぎかっこ) や 「,」(てん) 「。」(まる) に きをつけてよんでみましょう。 ③ ひらがな、かたかな、かんじを ただしくかけるように ノートにれんしゅう しましょう。 ④ 「～は」「～を」「～へ」をつかって、さくぶんやにつきを かきましょう。 ⑤ 日きをかいてみましょう。
さんすう	① きょうかしよのもんだいをただしくできるようにれんしゅうしましょう。 ② たしざん、ひきざんがただしくはやくできるようにれんしゅうしましょう ③ かけざん九九がすらすらいえるようになりましょう。(2年生)
そのほか	① おもしろいえほんやものがたりの本をよみましょう。 ② こくごやさんすうのテストやプリントのまちがいなおしをしよう。 ③ そだてているもののかんさつカードをかきましょう ④ おてつだいをしましょう。

## 4. おわったら…

- ☆ ふでばこのなかの えんぴつを けずっておきます。
- ☆ じかんわりを たしかめて、あしたの よういを します。
- ☆ つくえのうえや かばんの あとかたづけを します。



# <家庭学習の手引き（3,4年生）>

## 1. 始める前に

- ☆ 毎日、学習する時間を決めて、取り組みましょう。
- ☆ つくえの上やまわりを、きちんと整理整頓しましょう。
- ☆ テレビやゲームなどのスイッチは切りましょう。



## 2. 学習する時間 目安の時間：学年×10分+10分

- ☆ 3年生は40分、4年生は50分、学習しましょう。
- ※学校からの宿題と家での学習を合わせた時間です。

## 3. 学習内容 ノートでの学習のさん考にしましょう。

	学 習 内 容
国 語	① 教科書や本を声に出して、読む。(はっきり、ていねいに) ② 習った漢字やまだ習っていない漢字を漢字練習帳に書く。 ③ 教科書の文を正しくノートに書き写す。(視写) ④ 意味のわからない言葉を辞書で調べる。 ⑤ 読書感想文や日記を書く。
算 数	① かけ算、わり算がすばやく正かくにできるように何度も練習する。 (教科書の練習問題を活用します。) ② 習った図形を正確にかく。
社 会	① 学校で学習したところを読んだり、ノートに写したりする。 ② 地図を見て、北海道の地名を覚えたり、場所をたしかめながら都道府県を覚えたりする。(4年生)
理 科	① 学校で学習したところを読んだり、ノートに写したりする。
その他	① きょうみのある本の読書をする。 ② 各教科のテストやプリントのまちがい直しをする。 ③ お手伝いをする。

## 4. 終わったら

- ☆ 時間割をたしかめて、教科書、ノートなどわすれ物がないように、明日の学習のじゅんびをしましょう。
- ☆ えんぴつをけずっておきましょう。
- ☆ タブレットのじゅう電をわすれずにしましょう。
- ☆ タブレットは毎日学校に持ってきてきましょう。



# <家庭学習の手引き（5,6年生）>

## 1. 始める前に

- ☆ 毎日、学習する時間を決めて、取り組みましょう。
- ☆ 机の上やまわりを、きちんと整理整頓しましょう。
- ☆ テレビやゲームなどのスイッチは切りましょう。



## 2. 学習する時間 目安の時間：学年×10分+10分

- ☆ 5年生は60分、6年生は70分、学習しましょう。
- ※学校からの宿題と家での学習を合わせた時間です。

## 3. 学習内容 ノートでの学習の参考にしましょう。

	学 習 内 容
国 語	① 教科書や本を音読する。内容を考えながら会話に気をつけて読む。 ② 習った漢字やまだ習っていない漢字を漢字練習帳に書く。 ③ 教科書の文を正しくノートに書き写す。(視写) ④ 意味のわからない言葉を辞書で調べる。 ⑤ 習った漢字や言葉を使い、短文を作る。 ⑥ 読書感想文や日記を書く。
算 数	① 計算が正しくできるように何度もノートに練習する。 (分数や小数の計算など、教科書の練習問題を活用します。) ② 習った公式や計算のしかたをノートに写し、復習する。 ③ 習った図形を正確に描く。
社 会	① 学校で勉強したところを読んだり、ノートに写したりする。 ② 地図を見て、主要国の場所や名称を覚える。 ③ 歴史の年表や新聞を作ってみる。(6年生) ④ 新聞を読む。
理 科	① 学校で勉強したところを読んだり、ノートに写したりする。 ② 実験器具の名前や使い方を覚える。 ③ 天体や天気の変化を記録する。
その他	① 興味のある本の読書をする。 ② 各教科のテストやプリントのまちがい直しをする。 ③ お手伝いをする。

## 4. 終わったら

- ☆ 時間割を確かめて、教科書、ノートなど忘れ物がないように、明日の学習の準備をしましょう。
- ☆ 鉛筆をけずっておきましょう。
- ☆ タブレットの充電を忘れずにしましょう。
- ☆ タブレットは毎日学校に持ってきてきましょう。

